

## 第2学年 特別活動（進路学習）指導案

日 時 平成16年10月7日（木）5校時

学 級 2年A組（男子16名、女子14名、計30名）

授業者 T1 松原洋子 T2 堀内真理子

### 1 題材名 自分の適性、自分の進路

### 2 題材について

#### （1）生徒観

「将来の夢が見つからない」「自分は何に向いているのかわからない」「やりたいことがない」という声を教室でよく耳にする。自分は何が好きで、どんなよさがあるのかわからないと悩んでいる生徒もあり、学級全般的に自分の進路には不安を抱いている生徒が多い。それでも、あきらめるのではなくなんとか自分の道を見つけたいと願っている。

学級の実態としては、基本的に仲が良く、運動が得意で活発な生徒が多い。授業中の発言やつぶやきも多いので、学級活動では集団の中での意見交流を十分にさせたいと考えている。

#### （2）教材観

これまでの盛岡職場訪問、「職業の世界」の授業を通して、進路に対する関心が一段と高まってきた。

また、「自分の適性、自分の進路」の授業や花巻職場体験学習を通して、自分の適性や向いている職業について真剣に考えるようになってきている。そこで、これまでの学習を生かし、これから自分のどのような面を育て、どのような道に進んでいきたいか、また今後の中学校生活をどのように送っていききたいか、より深く考えさせたい。

### 3 単元（題材）の目標及び評価規準

- （1） 自己の生き方、学ぶこと、働くことなどに関心を持ち、意欲を持って自己のよさを発見し、積極的に伸ばそうとしている。（関心・意欲・態度）
- （2） 自己の将来に希望を抱き、その実現に向けて将来の生活設計を考え、今学ぶべきことや自己の生き方について考え、判断している。（思考・判断）
- （3） 主体的に学び方を身につけ、学習や進路選択に必要な情報を収集、活用し、自己の個性や学習の成果を進路の選択に生かすことができる。（技能・表現）
- （4） 学ぶこと、働くことの意義、進路選択に必要な情報収集の仕方などを知り、自己の能力、適性などを理解している。（知識・理解）

### 4 単元（題材）の指導計画

- （1） 自分の適性、自分の進路
- （2） 自分の適性、自分の進路 …本時（1 / 2）

5 学級活動及び総合的学習の流れ（進路について）

月	学 級 活 動	総 合 的 な 学 習
5		進路適性検査
7	職業の世界	盛岡職場訪問についての取り組み (事前・事後含)
8	自分の適性、自分の進路	
9		花巻職場体験学習についての取り組み
10	自分の適性、自分の進路	(事前・事後含む)
11	学ぶための制度と機会	
12		先輩と語る会
1	学ぶための制度と機会	

6 本時の評価規準・具体の評価規準

評価規準	具体の評価規準（B）
<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>今後どのようにしていったらよいかを発表しあい進路実現に向けて意欲を高めることができる。</p>	<p>・友達の考えや意見を聞き、自分の参考にすることができる。( )</p>
<p>【思考・判断】</p> <p>希望職業と適性について、自分が努力しなければならない点を考えることができる。</p>	<p>・適性がない事例の場合について、どうしたらよいかを考え、自分の意見を短冊に書くことができる。( )</p> <p>・学習プリントを使用し、自分の特色をまとめ、今後どのようにすればよいかの考えを記入することができる。( )</p>

7 本時の学習

(1) 授業の構想

友達の意見や進路適性検査等を参考にして、自分の適性と希望の職業について考えさせる。

そして、希望の実現には、強い意志を持って努力することが大切であることを気づかせ、今後どうしていくことが必要なのかをじっくり考えさせる。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	教師の指導・援助（留意事項など）		評価
		T 1	T 2	
導入 10分	1 職場体験学習の写真を見てその職業の適性について、発表する。 2 学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場体験の感想と共に、自由に意見を発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真を見せる（投影機）</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">希望する職業と適性について考えよう</div>				
展開 35分	3 A, B 2 つの例を見て、適性と希望職業について今後どのようにしていったらよいか話し合う。 A 適性と職業が一致 B 適性と職業が不一致 ・ B に対するアドバイスを短冊に書き意見交換を行う。 4 自分の進路適性調査を見て、自分の進路について考える。 ・ 学習プリントに自分の特色や今後どのようにすればよいかを記入する 5 考えを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>不一致の場合 安易にだめだと捉えず、適性を高めていく方向に向けていく。</li> <li>結果に基づき他の職業に関心を持つことの大切さも助言する。</li> <li>机間巡視</li> <li>可能性を広げる方法についても具体的に考えさせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A B の例を提示（投影機）</li> <li>短冊を黒板に貼る。</li> <li>机間巡視</li> <li>努力を要する生徒に対して援助する。</li> </ul>	( )
終末 5分	6 本時のまとめをする。 ・ 先生の話聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>強い目的意識を持って努力することの大切さを強調する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動について評価する。</li> </ul>	( )

自分が希望する（興味のある）職業

進路適性調査の結果、適性があると出た分野

今後どのようにしていったらよいか、努力点などを具体的に書いてみましょう。

教卓

男 A x	女 B x	男 C	男 B	男 C	女 A
男 A	女 B	男 A	女 A	男 C	女 B
男 B	女 B	男 B	女 A	男 A	女 A x
男 A	女 B	男 B	女 A x	男 B	女 A
男 A	女 B	男 B	女 A x	男 A x	女 A

友人の適性評価  
進路適性調査

本人の希望とほぼ一致・・・A  
本人の希望とほぼ一致・・・

やや一致・・・B  
やや一致・・・

不一致・・・C  
不一致・・・x

一致した生徒のサンプル  
不一致の生徒のサンプル